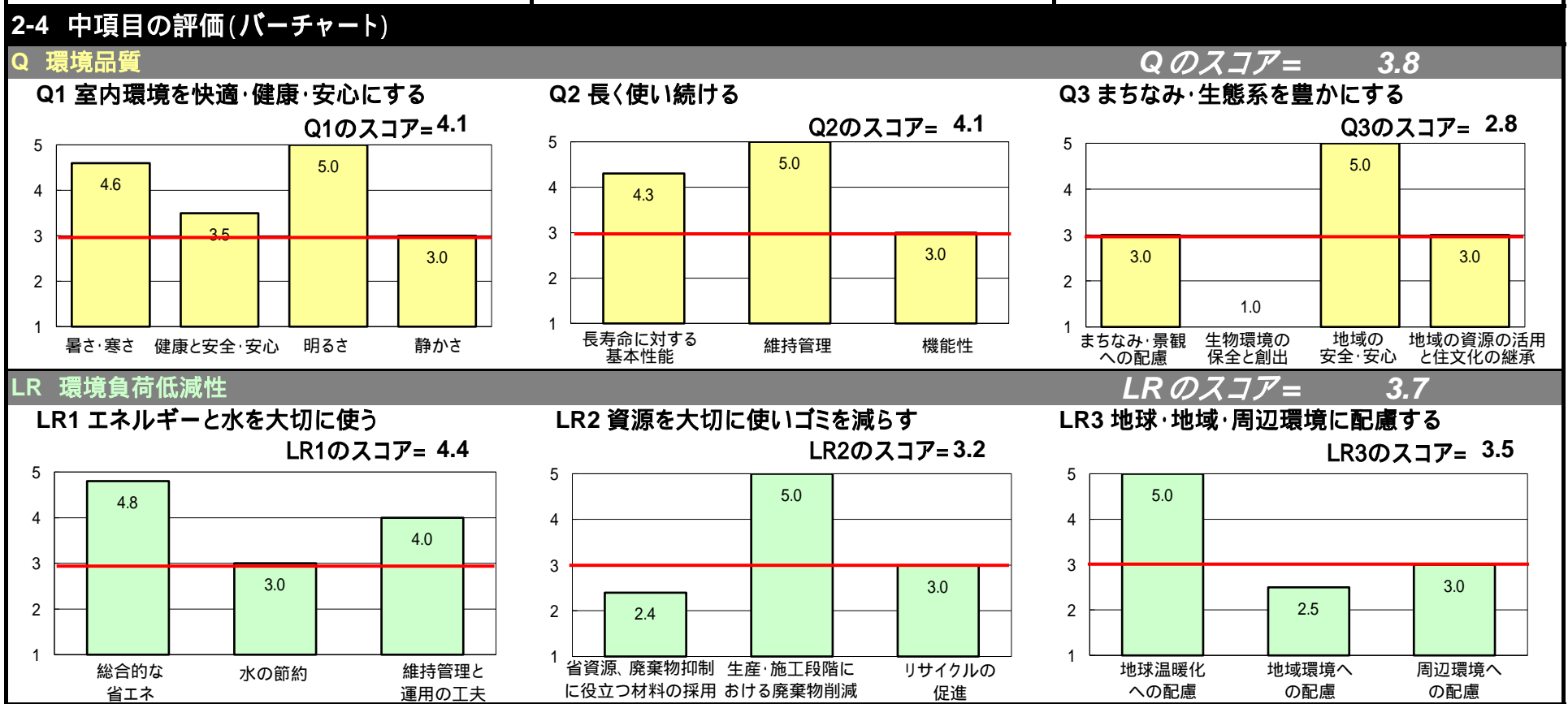
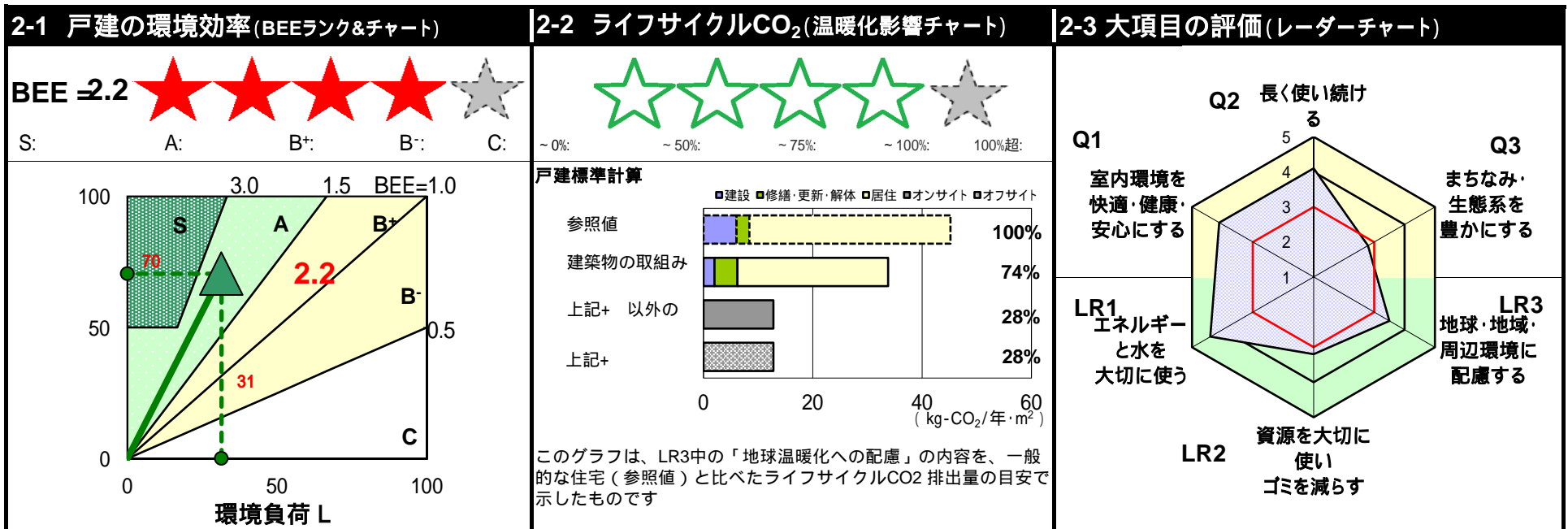




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 一部確定 確定
竣工年月	2019年12月	竣工	<備考>		
建設地	横浜市緑区霧が丘3丁目				
用途地域	第一種低層専用地域	仮			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2019年8月4日	
階数	2階建て		作成者	改田雅史	
敷地面積	199 m ²	確定	確認日	2019年8月5日	
建築面積	67 m ²	確定	確認者	浅川太郎	
延床面積	120 m ²				
世帯人数	4	確定			



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>居室には南側、または拡散光が入る北側に開口部を設けることで全体的に自然採光がとれる計画とした。各室二方向に開口部を設け、自然通風がとれる計画とした。外壁には耐久性、耐震性に優れ、粘土など自然素材を主原料として焼成した当社オリジナルの陶版外壁を使用し、窯変によって一枚ごとに微妙に異なる色合いや目地ピッチが豊かな表情を醸し出すことで美しい街並みに寄与している。</p>		<p>その他</p> <p>横浜市ZEH普及促進補助事業</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>断熱等性能等級4を満たす断熱仕様による冷暖房負荷の軽減した。換気通風、日射調整へ配慮した。室内に採用する建材は全てホルムアルデヒド放散等級Fをクリア。1階の開口部、2階のバルコニーに面する開口部全てに防犯ガラスを採用した。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>地盤調査に基づき、安全な基礎方式を採用した。耐震等級3を満たす構造の採用した。長期優良住宅認定基準を満たす劣化対策を行い、構造躯体を高耐久化した。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>周辺の民家との調和を図り、周囲に溶け込む色彩の外壁等を採用した。前面道路側にも植栽を計画し、緑豊かな街並みに寄与している。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>断熱等性能等級4を満たす断熱仕様の採用に加え、5.031kWの太陽光発電装置を屋根に搭載した。燃料電池を採用した。照明ランプは全てLEDを採用した。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>工場生産で発生する廃材の再資源化に取り組み、2002年から単純焼却ゼロのゼロエミッションを達成し、リサイクルの質に配慮しながら維持・継続している。施工現場からの廃棄物はプレカット部材の採用や建設リサイクル法に基づいた再資源化を行うことで削減に努めている。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>前面道路から見えるように樹木や下草を設け、街並みにおける緑化に配慮した。</p>



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号()を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **46** %削減



一次エネルギー消費量基準 **適合**

外皮基準 **適合**

0

受付日 2019年8月5日

誘導基準

エネルギーを大切に使う (建物の工夫 設備の性能 維持管理と運用)

BEI=0.54

家電・暖房機器による省エネを行う。

パナソニック製HEMS AiSEG2を設置する。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

室内環境対策 (暑さ・寒さ)

断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

室内環境を快適・健康・安心にする (健康と安全・安心)

主要な居室において適切な冷房計画を行い、ホルムアルデヒド対策等級3を満たす。

その他の対策 (自然材料・通風の工夫など)

工夫の有無 **あり**

居室は二方面に開口部を設け、自然通風の確保に配慮する。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

災害に備える (災害に備える 長寿命に対する基本性能 地域の安全・安心)

日本住宅性能表示基準「1-1,1-2 耐震等級3」を満たす。

日本住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級3」を満たす。

日本住宅性能表示基準「2-1感知警報装置設置等級4」を満たす。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

まちなみ・生態系を豊かにする (まちなみ・景観への配慮 生物環境の創出)

オープン外構を採用し地域に溶け込む計画する。

植栽を多く配置し地域の生物環境へ寄与する。

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-072



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.7
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.9
1 暑さ・寒さ		4.2	0.50	4.2
1.1 基本性能		3.4	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心 暑さ・寒さ	4.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心 暑さ・寒さ	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		5.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.5	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 災害に備える	3.0	0.25	-
3 明るさ		5.0	0.10	5.0
3.1 昼光の利用		5.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.1
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災 長寿命に対する基本性能	3.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり 生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり 生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災 地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.8
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.7
1 総合的な省エネ		5.0	0.75	5.0
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能 建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.0	0.15	3.0
2.1 節水型設備		3.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		5.0	0.10	5.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 維持管理と運用	5.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 維持管理と運用	5.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.2
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.4	0.60	2.4
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	1.00	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		5.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.5
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-